

- 問1 ヨーロッパの言語系統と、それらが主に話されている地域や具体的な言語の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、ヨーロッパでは地域ごとに「おはよう」などの日常的な挨拶の語根が共通する傾向が見られます。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1. スラブ系 — 主に北ヨーロッパに分布し、ロシア語やポーランド語が属する。 | 2. ラテン系 — 主に南ヨーロッパに分布し、フランス語やイタリア語が属する。 | 3. ゲルマン系 — 主に東ヨーロッパに分布し、英語やドイツ語が属する。 | 4. ラテン系 — 主に北欧諸国に分布し、ノルウェー語やスウェーデン語が属する。 |
|---|---|--------------------------------------|--|
-
- 問2 1993年を境にヨーロッパ諸国の食生活が変化した背景を説明した記述として、欧州連合（EU）の発足による影響をふまえた最も適切なものを選びなさい。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 域内での物資の移動にかかる関税や国境検査が原則として廃止されたことで、他国の新鮮な農産物や特産品が安く流通し、食生活が多様化した。 | 2. 共通通貨ユーロの導入によって物価が非常に高騰したため、人々は安価な冷凍食品のみを食べるようになり、外食文化が衰退した。 | 3. 域外からの輸入を完全に禁止する法律が制定されたため、すべての加盟国で自給自足が達成され、伝統的な食文化が保護されるようになった。 | 4. すべての加盟国で共通のメニューを食べることが義務付けられたため、各国固有の食文化が消滅し、食生活の均一化が急激に進んだ。 |
|--|--|---|---|
-
- 問3 イギリスなどのヨーロッパ高緯度地域が、北アメリカ大陸の同緯度地域に比べて冬でも比較的温暖な気候となる仕組みについて、海流と風の影響を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 高緯度から流れてくる北大西洋海流という寒流の上を、季節風が吹いて暖かい空気を運んでいる。 | 2. 低緯度から流れてくる日本海流という暖流の上を、偏西風が吹いて暖かい空気を運んでいる。 | 3. 低緯度から流れてくる北大西洋海流という暖流の上を、貿易風が吹いて暖かい空気を運んでいる。 | 4. 低緯度から流れてくる北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹いて暖かい空気を運んでいる。 |
|---|---|---|---|
-
- 問4 EU域内における企業の活動について述べた次の文の（X）と（Y）にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。「西ヨーロッパの企業は、東ヨーロッパ諸国の（X）が自国よりも低いことに注目し、生産にかかる費用を抑えるために（Y）を進めている。」 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. X：労働人口 Y：共同研究 | 2. X：貿易額 Y：関税の廃止 | 3. X：最低賃金 Y：工場移転 | 4. X：輸送コスト Y：資源開発 |
|------------------|------------------|------------------|-------------------|
-
- 問5 ロシアは世界的な原油・天然ガスの産出国でありながら、国内の「全発電量に占める火力発電の割合」は、他の主要な資源国であるナイジェリアやインドネシアと比較して低くなっています。その背景にあるロシアの地理的・社会的な事情として最も適切な説明はどれか、選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 国内の環境保護意識が世界で最も高く、火力発電所の新設が法律で禁止されているため。 | 2. シベリアなどの大河川を利用した大規模な水力発電や、原子力発電が普及しているため。 | 3. 偏西風を利用した風力発電が盛んで、全発電量の半分以上をまかなっているため。 | 4. 国内に石炭資源が全く存在せず、すべての火力の燃料を輸入に頼っているため。 |
|---|---|--|---|
-
- 問6 2015年のエネルギー供給に関する統計資料によると、日本は石炭・石油・天然ガスなどの合計が83.5%に達しているのに対し、ドイツなどのヨーロッパ諸国ではこれら化石燃料の合計が59.2%となっています。その一方で、地熱・太陽光・風力などの供給割合は、日本が1.5%であるのに対し、ヨーロッパ諸国では24.9%に達しています。このようなエネルギー供給の構造の違いが生まれている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. ヨーロッパ諸国では、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低いエネルギーへの転換を政策的に進めているため。 | 2. 日本はヨーロッパ諸国に比べて電力需要が極めて少なく、新しいエネルギー源を開発する必要性が低いいため。 | 3. 日本は四方を海に囲まれているため、風力や太陽光などの自然エネルギーを利用した発電に適していないため。 | 4. ヨーロッパ諸国では、石炭や石油などの地下資源が完全に枯渇しており、自国でエネルギーをまかなう手段がないため。 |
|---|---|---|---|
-
- 問7 世界を6つの州に区分したとき、ユーラシア大陸の西部に位置し、スイスやフランスなどの国々が含まれる州の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|---------|
| 1. 北アメリカ州 | 2. アフリカ州 | 3. ヨーロッパ州 | 4. アジア州 |
|-----------|----------|-----------|---------|
-
- 問8 地中海に面したある国は、古代ローマ帝国の中心地として栄えた歴史を持ち、現代でも多くの歴史的建造物が残っています。この国の特徴的な建造物と食文化の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. パルテノン神殿があり、オリーブや魚介類を用いた料理が中心である。 | 2. 時計台のある宮殿があり、フィッシュアンドチップスが親しまれている。 | 3. エッフェル塔があり、ワインやチーズ、肉料理が盛んに食べられている。 | 4. コロッセオ（円形闘技場）があり、ピザやパスタの食文化が発達している。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
-
- 問9 ある地点の気候統計において、最も暑い月の平均気温が20度弱、最も寒い月の平均気温が5度前後であり、月ごとの降水量が年間を通じて50mmから70mm程度で安定している場合、この気候の名称と特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. ツンドラ気候と呼ばれ、一年中気温が低く、わずかな苔類が生育する。 | 2. 地中海性気候と呼ばれ、夏は乾燥し、冬に一定の降水が見られる。 | 3. 西岸海洋性気候と呼ばれ、偏西風と暖流の影響で気温の年較差が小さい。 | 4. 温暖湿潤気候と呼ばれ、季節風の影響で夏と冬の気温差が非常に大きい。 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問10 ロンドンは北緯50度を超える高緯度に位置しており、日本の札幌（北緯約43度）よりも北にありますが、冬の気温は札幌よりも高く、比較的穏やかです。その主な要因について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 大陸内部で発生する移動性高気圧の影響により、冬でも晴天の日が多く日照時間が極めて長いため | 2. 赤道付近で暖められた空気が貿易風によって運ばれ、年間を通じて安定した高気圧に覆われるため | 3. 寒流である千島海流の影響を避けつつ、大陸から吹き出す乾燥した季節風を遮断しているため | 4. 暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため |
|---|---|---|--|
-
- 問11 ドイツにおける農業の仕組みや経済状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 独自の通貨であるマルクを維持することで、南部の温暖な気候を活かした地中海式農業を保護している。 | 2. EU加盟国ではあるが、農業保護のためにユーロは導入せず、混合農業による自給自足を目指している。 | 3. EUの共通通貨であるユーロを使用し、穀物栽培と家畜飼育を並行して行う混合農業が営まれている。 | 4. アルプスに近い南部地域を中心に、乾燥に強いオリーブやブドウを栽培する地中海式農業が最も盛んである。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ラテン系 ― 主に南ヨーロッパに分布し、フランス語やイタリア語が属する。	南ヨーロッパに位置するフランス、イタリア、スペインなどは、古代ローマ帝国で使われていたラテン語を起源とするラテン系の言語が広く分布しています。イギリスやドイツ、北欧諸国などの北西部はゲルマン系、ロシアを含む東部はスラブ系という分布の特徴を理解しておくことが重要です。
問2	答え 1 域内での物資の移動にかかる関税や国境検査が原則として廃止されたことで、他国の新鮮な農産物や特産品が安く流通し、食生活が多様化した。	欧州連合（EU）の発足による「市場の統合」は、私たちの生活に密接に関わる食文化にも大きな影響を与えました。国境検査や関税がなくなったことで、隣国の農産物がトラックでそのまま輸送されるようになり、消費者は季節を問わず多様な食材を安価に手に入れられるようになりました。これは、経済統合が市民の利便性を向上させた具体例の一つです。
問3	答え 4 低緯度から流れてくる北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹いて暖かい空気を運んでいる。	ヨーロッパの気候を決定づける要因は、暖流である北大西洋海流と、一年中西から吹く偏西風の組み合わせです。暖流によって温められた海上の湿った空気が、偏西風によって大陸側へと運び込まれるため、緯度のわりに冬の気温が下がりにくいという特徴があります。これに対し、季節風は大陸と海洋の温度差で向きが変わる風であり、貿易風は低緯度地域で吹く風であるため、この地域の気候説明としては不適切です。
問4	答え 3 X：最低賃金 Y：工場移転	ヨーロッパでは、経済発展の進んだ西側と、相対的に賃金水準の低い東側の格差を利用した分業が進んでいます。東ヨーロッパの低い最低賃金を背景に、企業は「人件費」を削減する目的で工場の移転を行い、効率的な生産体制を築いています。これによって、安価で高品質な製品をEU全体や世界市場へ供給することが可能になっています。
問5	答え 2 シベリアなどの大河川を利用した大規模な水力発電や、原子力発電が普及しているため。	ロシアはエネルギー資源が豊富ですが、それと並行してソ連時代から電源の多角化が進められてきました。特にエニセイ川などの大河川には巨大なダムを伴う水力発電所が建設されており、また原子力発電の技術も高く、国内の多くの電力を供給しています。このため、火力発電への依存度が他の産油国・産炭国ほど高くない仕組みになっています。
問6	答え 1 ヨーロッパ諸国では、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低いエネルギーへの転換を政策的に進めているため。	エネルギー供給の割合の違いは、各国の環境政策の差を反映しています。ドイツをはじめとするヨーロッパ諸国では、地球温暖化対策として「脱炭素」を掲げ、化石燃料から風力や太陽光などの再生可能エネルギーへと供給源を切り替えるエネルギー転換（エネルギー・ヴェンデ）を積極的に進めてきました。これに対し、日本は資源の多くを海外からの輸入に頼っており、安定した電力供給を維持するために、依然として火力発電の燃料となる化石燃料への依存度が高いという課題を抱えています。
問7	答え 3 ヨーロッパ州	ユーラシア大陸は、東側のアジア州と西側のヨーロッパ州に分けられます。スイスやフランス、ドイツ、イギリスなどは、このうちユーラシア大陸の西側にあるヨーロッパ州（欧州）に属する国々です。北アメリカ州は太平洋や大西洋を隔てた別の核に位置します。
問8	答え 4 コロッセオ（円形闘技場）があり、ピザやパスタの食文化が発達している。	イタリアは地中海に突き出した半島に位置し、古代ローマ時代の遺跡であるコロッセオが首都ローマに残っています。また、小麦を用いたピザやパスタはイタリアを代表する世界的な食文化です。フィッシュアンドチップスはイギリス、ワインや肉料理の多様性はフランスの代表的な特徴であり、混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 3 西岸海洋性気候と呼ばれ、偏西風と暖流の影響で気温の年較差が小さい。	最暖月の気温が20度程度と夏は涼しく、最寒月でも0度を上回り冬が比較的穏やかである（年較差が小さい）こと、そして降水量が季節を問わず一定であることは、西岸海洋性気候の典型的な特徴です。この気候は主に中緯度の大陸西岸に見られ、偏西風と暖流（北大西洋海流など）の影響を強く受けています。対照的に、東京などの温暖湿潤気候は夏に気温が高く降水量も多くなります。
問10	答え 4 暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため	ロンドンが属する西岸海洋性気候の大きな特徴は、高緯度のわりに冬が温暖であることです。これは、北極側へ流れる暖流の北大西洋海流が海水を温め、その上の温かく湿った空気が偏西風（一年中西から吹く風）によってヨーロッパ大陸の西岸へと運ばれてくるためです。対して、大陸東岸にある札幌などは冬に大陸からの冷たい季節風の影響を強く受けるため、ロンドンよりも低緯度であっても気温が低くなります。
問11	答え 3 EUの共通通貨であるユーロを使用し、穀物栽培と家畜飼育を並行して行う混合農業が営まれている。	ドイツはEU域内での経済統合を進めるため、共通通貨ユーロを導入しています。農業面では、土地の肥沃度や気候条件に基づき、家畜の糞尿を肥料として活用しながら穀物を育てる「混合農業」が伝統的に行われてきました。ドイツ南部は山岳地帯や森林が多く、地中海沿岸ではないため、夏季の乾燥を前提とした地中海式農業（オリーブやブドウなどの栽培）が中心になることはありません。